



# フレッシュ/JAあかし

発行  
あかし農業協同組合  
明石市大久保町駅前1丁目7番地の4  
TEL.934-5800(代) 総務課

2025.1.1 / vol.129

## 新年挨拶

あかし農業協同組合  
代表理事組合長  
大西弘訓



### 信頼で未来へ繋げよう

新年明けましておめでとうございます。組合員の皆様におかれましては、つつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年中はJAあかしの事業活動全般にわた

り、格別のご理解とご協力を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、3月にマイナス金利政策が解除され、17年ぶりに利上げが実施されました。その後、7月と9月に追加の利上げと長短金利操作(YCC)が導入され、経済政策の焦点が金利調整に移りました。この結果、賃上げが33年ぶりの高水準となり、日本経済は前進の兆しを見せています。

一方、農政面では『食料・農業・農村基本法』が改正され、『食料安全保障の抜本的な強化』、『環境と調和のとれた食料システムの確立』、『農業の持続的な発展のための生産性の向上』、『農村における地域の社会の維持』の基本理念が見直さ

れました。また、10月に開催された「第30回JA全国大会」では、『持続可能な農業の実現』、『豊かできらしやすい地域共生社会の実現』、『協同組合としての役割発揮』が目標として設定されました。これを踏まえ、11月の第36回兵庫県JA大会では、『JAの総合力の発揮』、『デジタル化への対応』、『組合員・地域を支える人材の育成』を重点課題とし、スローガンとして「共に育む、地域の絆と農業の未来」に変化する

時代における総合力の発揮」が設定され、時代の変化に柔軟に対応し、進化を続けることが求められています。当JAとしても、「不易流行」の考えを大切にし、伝統を重んじながらも現代に適した変化をバランスよく取り入れていくことが不可欠であると考えます。私たちは、農業の未来を切り拓く指導的な役割を果たし、地域に根ざした持続可能な都市型農業の振興を目指します。また、地域の実情に応じた施策を策定し、着実に実践してまいります。

令和6年度はJAあかし第4次3ヶ年計画の最終年度を迎え、事業計画達成に向けた取り組みを継続してまいりましたが、非常に厳しい1年でした。このような状況を打破するため、『資産相談室』を設置し、トータルアドバイザー体制を強化し、施設・建屋の老朽化対策や職員のスキル向上にも努めてまいりました。

も影響が出ており、米の価格が高騰しました。特に兵庫県では高温障害やカメムシの被害による収穫量の減少が見られました。その対応策として、今年から兵庫県下のJAでは、キヌヒカリに代わる高温対策新品種の作付けが開始されます。

我々を取り巻く環境として、農業従事者の減少、農業生産資材価格の高騰、正組合員数の減少のみならず、自然災害や気候変動により、農業およびJAに関する課題が山積しております。急速なデジタルトランスフォーメーション(DX)を農業関連にも推し進める必要があります。この分野の人材確保が急務であります。

令和7年度はJAあかし第5次3ヶ年計画の初年度にあたります。先述の事柄を考慮し協同活動と総合事業を通じて食と農を支え、豊かな暮らしと活力のある地域社会を実現するため、経営の健全性を確保します。また、協同組合としての役割発揮に努めます。組合員・地域とのコミュニケーションを強化しながら、様々な取り組みを進めてまいります。また、新しい時代に対応するため、柔軟性とイノベーションを重視し、デジタルトランスフォーメーション(DX)の導入を積極的に進めます。そして、効率的で持続可能な農業を実現し、地域の未来を築くための変革を続けてまいります。経営的に非常に厳しい状況下ではありますが、皆様の期待に応えるべく、様々な取り組みを進めてまいりますので本年も引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のご健勝とご発展をお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

## 謹賀新年

代表理事組合長 ● 大西 弘訓

常務理事 ● 大内 一幸

常務理事 ● 石森 啓史

理事 ● 濱田 辰生

理事 ● 吉里 雅史

理事 ● 櫻井 彰人

理事 ● 水田 敏明

理事 ● 藤田 守

理事 ● 田中 文博

理事 ● 井上 和彦

理事 ● 木内 隆司

理事 ● 伊藤 昌恭

理事 ● 山本 純代

理事 ● 藤井 和子

代表監事 ● 橘 忠彦

監事 ● 藤井 秀樹

員外監事 ● 井津井 一弘

常勤監事 ● 芝地 教代

総務課長 ● 有岡 靖祐

リスク管理課長 ● 吉川 騰雄

内部監査室長 ● 田中 義浩

金融共済課長兼  
資金運用課長 ● 稲葉 純一

経済課長 ● 古谷 武志

フレッシュ・モア店長 ● 政井 広大

大久保支店長 ● 白星 康博

江井ヶ島支店長 ● 松本 富二

大久保北支店長 ● 杉山 嘉隆

西明石支店長 ● 安井 大介

明石東支店長 ● 堺 直樹

### トピックス

- 活動報告 .....2面
- 有機・地産地消給食の実施と食農教育の取り組み.....3面



昨年には自然災害の影響が大きく、特に能登半島地震や9月の豪雨による大きな被害が発生しました。東南海トラフ地震の発生確率も高まっており、引き続き防災対策が求められていると共に、近年の気候変動による豪雨や猛暑で農作物に

ご意見・ご感想・その他...  
「フレッシュJAあかし」に掲載して欲しい  
情報等ございましたらこちらまで  
あかし農業協同組合 総務課  
明石市大久保町駅前1丁目7番地の4  
TEL:934-5800(代)  
(e-mail)  
aks.ja-akashi-naikan@jamail.hyogo.jp

# 活動報告



令和6年  
**10月16日**

JAグループ兵庫 JAグループ兵庫  
10月16日は  
**国消国産の日**

**国消国産に関する情報発信の取り組み**

JAグループでは、「国民が必要として消費する食料はできるだけその国で生産する」という「国消国産」の考え方を提唱し、10月16日を「国消国産の日」と制定しています。当組合では、組合員・利用者へ国消国産への理解を深めてもらうため、学習資料の配布を行った他、内部の会議でJA全中、山野会長の講義を視聴するなど学習に取り組みました。

令和6年  
**10月12日**

**JAバンク兵庫サッカー教室開催**

地域活性化への取り組みとして、明石市立天蔵海岸多目的広場でJAバンク兵庫サッカー教室を開催。ヴィッセル神戸のスクールコーチ3名を指導者として招き、市内のサッカーチームに所属する小学生42名が参加しました。ドリブル練習などの基礎練習で細かな指導を受け、最後にゲームを行う約90分の練習メニュー。指導にあたったコーチは、「学びを積み重ねて、上手くなっていきたい」とエールを送りました。

令和6年  
**10月1日**

**JAあかし内定式**

令和7年度入組予定の学生2名に対して内定式を実施し、内定者は大西弘訓代表理事組合長より激励のあいさつを受けた後、内定証書を受け取りました。内定者は「4月より社会人になるが、1日でも早く戦力になれるように努めたい」と決意を述べ、強い意欲を見せてくれました。

令和6年  
**10月22日**

**江井島小2年生が職場見学**

江井島支店で明石市立江井島小学校2年生の授業「もっと知りたい たんけんたい」の受け入れを行い、児童14名が職場見学に訪れました。児童らは、JAの仕事を知るために窓口を見学。松本富二支店長がJAや支店業務の説明をしました。説明用と並べられた紙幣と硬貨を見ると「これは新しくなった新紙幣?」「二千円札を初めて見た」と興味津々。一枚ずつ手に取り、お金の大切さも学びました。

令和6年  
**10月19-20日**

**兵庫県民農林漁業祭で花美人PR**

県立明石公園で行われた兵庫県民農林漁業祭で「脱炭素のお米」として花美人の生産に関する取り組みを展示し、PRに取り組みました。パネルや動画で説明を受けた来場者は、「明石市でこのようなお米が作られているとは知らなかったので、一度食べてみたい」と話してくださいました。アンケートの回答者には、花美人または同じく「脱炭素のお米」とされているJAたまじまの「コウノトリ育むお米」のキューブ米を進呈しました。

※脱炭素のお米とは、農林水産省の温室効果ガス削減見える化（ヘルミソ）星を獲得したお米のことをいいます。

令和6年  
**10月18日**

**園児がさつまいも収穫体験**

地産地消の推進と食農教育を目的として、市内の保育園、幼稚園の園児を対象にさつまいも収穫体験を開催。今年度は14園、480名が参加しました。園児は、さつまいもが土の中で育つことを知り、大きなさつまいもが掘れるとひと際大きな歓声をあげて喜びを見せていました。保護者同伴で参加した園もあり、地元で採れた農産物を地元で消費する「地産地消」にも興味を持っていただけました。

令和6年  
**12月4日**

**保育園でお米の出前授業**

スイートキュービット保育園でお米に関する出前講座を実施し、園児61名と保護者20名が参加しました。JAは令和6年度、県の委託事業である県産農林水産物学校給食利用促進事業を活用しています。子どもたちへ地元農産物に接する機会の提供と食農教育に取組み、市内保育園に募集をかけ、依頼のあった30園にブランド米「花美人」10kgを提供、その内14園には出前講座も行います。

令和6年  
**11月24日**

**花美人の米粉使用の「塩フィナンシエ」試食会実施**

花美人の米粉と淡路島の藻塩を使用した「塩フィナンシエ」を、第二神明道路明石サービスタリア（上下線）限定で11月23日より販売を開始し、24日には試食会が実施されました。「塩フィナンシエ」は、明石北高等学校の生徒4人が考案。商品開発からパッケージデザインまで生徒が手掛けており、「地元明石の魅力を伝えたい」という思いが込められています。是非、「賞味ください」。

令和6年  
**11月6日**

**米個体検査を実施**

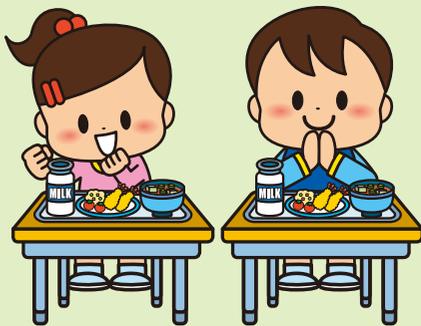
10月7日と11月6日に米の個体検査を実施しました。令和6年産米個体出荷本数はキヌヒカリ179本、ヒノヒカリ698本、もち米166本となり、キヌヒカリは前年同様高温障害の影響が見られ、ヒノヒカリも高温障害およびカラムシによる被害粒が見られました。米の品質や出来高について農会長と対話しつつ、農産物検査員が慎重に等級を決定しました。

市内小学校・中学校



# 有機・地産地消給食の実施と食農教育の取り組み

明石市教育委員会は、次世代を担う子どもたちへの食育推進を目的として令和6年度計3回にわたり、「有機・地産地消給食の日」を実施しています。その有機・地産地消給食にJAあかしからはブランド米「花美人」を提供するとともに、市内一部の小学校を対象に出前講座を行っています。



## 10月11日 高丘東小学校



明石市教育委員会事務局  
学校給食課  
石川 智也係長

給食を美味しく食べていただきたいと思っています。そのためにも、給食に関心を持ってもらいたいです。



〔出前講座〕5年生 44名  
〔講座内容〕学校給食課「有機農産物について」  
JAあかし「お米ができるまで、花美人について」

## 11月25日 花園小学校



JAあかし経済課  
西條 優菜さん

地元の農家さんが大切に作ってくれたお米です。「いただきます」と感謝を忘れずたくさん食べてくださいね。



「玄米が宝石みたいで綺麗！」と見せてくれました。

〔出前講座〕1年生 64名  
〔講座内容〕学校給食課と2525ファーム「有機農産物と特別栽培たまねぎについて」  
JAあかし「お米ができるまで、花美人について」

## 12月2日 江井島小学校



給食中の1年生の教室を大西弘訓組合長が訪問しました。



12月2日は、有機・地産地消給食の日でした!

献立／ごはん、ポテトコロッケ  
添え野菜としてブロッコリー、たまごスープ、牛乳

〔出前講座〕5年生 111名  
〔講座内容〕学校給食課「有機農産物について」  
JAあかし「お米ができるまで、花美人について」

## 業務用車両に電気自動車導入

この度、本店と明石東支店に1台ずつ業務用車両として電気自動車を導入しました。電気自動車の導入は、SDGsの取り組みの一環として、二酸化炭素の排出量削減による地球環境に優しい地域社会作りの一つです。JAでは、環境にやさしい農法で栽培したブランド米「花美人」の販売促進に力を入れるなど、地球環境に配慮した取り組みを今後も継続してまいります。大西弘訓組合長は「環境に配慮した取り組みを様々な方面から行いたい。出来ることから一つずつ」と話しました。



## 直売所の年末年始の営業について

	12/29 (日)	12/30 (月)	12/31 (火)	1/1 (水)	1/2 (木)	1/3 (金)	1/4 (土)	1/5 (日)	1/6 (月)
農産物直売所 フレッシュ・モア (大久保店・西明石店 大久保駅前店)	臨時 営業 営業時間は 通常通り	通常 営業	休業日					通常 営業	通常 営業
JAファーマーズ プチ・フレッシュ・モア 江井ヶ島	通常営業	通常営業	9時～ 19時 営業	休業 日	10時～18時 営業	通常営業			

## JAバンクからのお知らせ

### 下記の日程でATMなどのサービスを一時休止させていただきます。

いつもJAバンクをご利用いただきありがとうございます。このたびJAバンクは利用者へのサービスや利便性の向上を目的としたシステム更改に伴い、誠に勝手ながらATM・ネットバンク等のサービスを一時休止させていただきます。日程は下記の通りであり、休止サービス内容の詳細については、QRコードよりご確認ください。

2025年 (令和7年)	1月 2日(木) 18:00～翌8:00	一部取引休止
	1月12日(日) 6:30～12:00	全取引休止
	1月18日(土) 21:00～翌8:00	
	2月23日(日) 6:30～9:00(予定)	
	3月 9日(日) 6:30～12:00	



## 明石市技能職者表彰



東松江地区の神足吉郎さんが、農業者として令和6年度明石市技能職者表彰を受賞しました。会社員時代は兼業農家として農業に携わり、定年後専業農家となった神足さん。作付面積は米1町、野菜7反であり、自慢の品目は有機肥料で作られたキャベツです。神足さんのほ場は、ご自身の家の前にも。「自分のほ場の周りを多くの人が散歩している。子どもは楽しそうだし、大人の方は“野菜大きくなってきたなあ”と声をかけてくれる。それが嬉しいから農地を守りたいし、農業を続けていきたい。農業が好きだから」と笑顔で話してくださいました。明石市技能職者表彰／優秀な技能を有し、永年にわたりその技能を必要とする職業に従事して地域社会の発展に貢献した者の功をたたえ行うことを趣旨としており、慎重な審議の結果、受賞者が決定される。

## 第36回 兵庫県JA大会

11月15日、神戸メリケンパークオリエンタルホテルにて、第36回兵庫県JA大会が開催されました。そこで行われたJA功労者表彰において、(株)クローバーファームJAあかし伊須原透さんが大会委員長表彰を受賞しました。

建物更生共済にご加入の皆様へ



# 特定修理業者にご注意を!

そんなうまい話あるのかしら?

「保険・共済を使って、建物の修理が無料できますよ!」等の触れ込みで、いわゆる特定修理業者が電話や飛び込み訪問で住宅修理の見積り作成を申し出て、不適切な保険金・共済金請求を促す手法でお客様を巻き込み、トラブルとなる事例が多数発生しております。

お宅の屋根瓦がずれていますよ。共済金の支払対象になりますので、お客様の**自己負担はありません!**3年前の台風が原因で壊れたことにて請求しましょう! もし請求手続きが面倒であれば、手続きも代行しますよ!?



## 勧誘にうっかり応じてしまうと...

それ、住宅改修詐欺かも!

### ケース1 うその理由での請求を勧められた。

本来、保険・共済のお支払い対象にならない自然損耗や日常使用に伴う損耗を昨今の自然災害が原因と偽って保険金・共済金の請求を勧められます。



### ケース2 法外な手数料・違約金を請求された。

保険金・共済金の請求はご自身で簡単に行うことができます。代行契約を結ぶと高額な手数料・違約金を請求される可能性があります。



### ケース3 自己負担ゼロに騙された。

「修理を行ったが業者の見立てと異なり、損害の原因は老朽化で保険金・共済金は支払われなかった。」等のトラブルが発生しています。



## ご注意

こんな時には「共済金使える」と言って建物修理の勧誘を受けた時には、**建物修理契約・請求代行契約を締結する前にまず、ご加入のJAにご相談ください。**

建物更生共済は火災・落雷などのほか、自然災害による偶発的・突発的に生じた損害を保障いたします。(但し、約款に記載の自然災害に限定します。)一方で、経年による自然な損耗は、保障の対象となりません。

JAあかし  
ふれあいフェスタ

2025.1.18(土) 9:00-14:00  
JAあかし本店前駐車場  
(明石市大久保町駅前1丁目7-4)

JAあかし産直部会が出品する”新鮮野菜”の直売を実施!  
地元で採れた安心・安全な農産物を是非お買い求めください!

※イベントの詳細は、決定次第ホームページおよび店頭チラシにてお知らせいたします。※当日は来場者用駐車場をご準備する予定ですが、台数に限りがございます。あらかじめご了承ください。

## JAあかし 向う3か月間の 行事予定



- 総務課**
  - JAあかしふれあいフェスタ .....1月18日(土)
- 金融課**
  - 休日ローン相談会(予約制) .....1月4日以外の毎土曜日開催
  - 「こどもサポート定期貯金」明石市こども基金に寄付金贈呈 .....1月10日(金)
  - 相続・遺言相談会(予約制) .....2月20日(木)
  - 年金受給者のつどい .....2月19日(水)
- 共済課**
  - 防災・減災に向けた支援活動に係る寄付 .....2月3日(月)
  - 明石地区傷害共済加入運動 .....3月
- 経済課**
  - 水稻肥料・農業予約申し込み .....2月上旬
  - 水稻育苗予約申し込み .....2月上旬
  - 水稻育苗資材予約申し込み .....2月上旬

## 床をめくらない 床断熱



断熱材がない、古くて薄い、足元が冷たい、洗面所が寒い そんなお家は...

見積・採寸 無料!

1日で 施工完了!

お気軽にお問い合わせください!

**編集後記** 食事の前に、手を合わせて「いただきます」と声に出していますか?

JAあかしは令和6年度、食農教育の取り組みを多く実施しました。メインとなったのは、3面で紹介した「有機・地産地消給食の日」に関する出前講座です。12月に伺った江井島小学校は、その日がちょうど有機・地産地消給食の日で、学校のご厚意で給食をご馳走になりました。今の子どもたちはこんなに美味しい給食を食べているのかと驚いた一方で、この子たちが大人になった時も安心安全な農産物が食べられるようにしてあげたい、と考える自分がいました。

給食を目の前に大きな声で「いただきます!」と挨拶する子どもたち。年末年始、家族で食事をする時には、私たちが大きな声で「いただきます」「ごちそうさまでした」と感謝の気持ちを言葉にしたいですね。(T.A.)